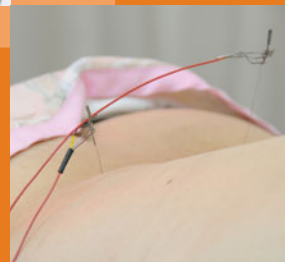


切磋琢磨。

YORAC鍼灸院は天神さんで親しまれている大阪天満宮から数分、天神橋筋商店街の一角にあります。型にはまらない治療!? で、難病の患者さんも多く訪れると聞き、お話をうかがってきました。



中国鍼



ウチは“ガラパゴス”。 患者さんは生きた先生です

ウチはガラパゴスだって言っているんです。基本は押さえた上で、さまざまな治療、独自の方法で治療します。中国鍼も日本鍼も使うし、カイロプラクティックも、全て目的に応じて使い分けます。

カイロはアメリカで勉強しました。中国鍼は中国に行って勉強したわけではなく、日本で書物を見て勉強して、患者さんの許可を得て、「ここやって効かない、じゃあ次ここやってみよう」と鍼を打たせてもらって、その結果から、治療法として有効かどうか決定していきました。

例えばぎっくり腰ですが、これは日本の鍼では治しづらいということがわかって、中国鍼ではどうか試してみた結果、中国鍼を使うようになりました。日本の鍼で浅く刺して治される先生は本当にすごいと尊敬していますが、私には無理。中国鍼を深層部の筋肉まで刺ししないとバシッと治らない。私は、このとき得気を得るため捻鍼することもあります。

“リスクゼロ”は信頼関係の賜物

医療過誤が一部で問題になっていますが、私の治療院では全く心配していません。

中国鍼を深部に刺すと基本的に出血する。そのことをわかった上で治療を受けていただく。出血や内出血の恐れ方、嫌な方は他の治療院へ行ってくださいと言います。「目の周りに鍼をすると、バンダになるけど」と言うと、患者さんは「結構です。お任せします」とおっしゃられる。信頼関係がなかったら治療はできませんし、治せません。皆さん、私の治療を信じてくれています。

中国鍼はオートクレーブに入れて消毒して使います。義理の兄がドクターで、患者さんのなかにももちろんドクターも医療関係の方もおられます。当然、衛生面での理論武装はきちんとしています。

信用を築くにはまず腕を磨く

治療方法とそのためのリスクを説明して、それでもいいですかと言うと、「ハイ、お願いします」と言われる。そういう風に信用されていると、なにも心配することはないのです。信用さえされていない者が鍼を打って事故になったらそりや大変ですよ。

その信用をつくるには、まず腕を磨くことです。腕がついてきたら患者さんが来ます。そしてその結果としてお金がついてくるのです。

私の治療院では、サポートスタッフとして、治療方法を勉強するために来ている後輩たちがいます。今日手伝ってくれている先生は、関西鍼灸短期大学(現 関西医療大学)を出て、自分の治療院を持たれているのですが、午前と午後の診療の合間に私のところで治療方法を勉強するために来ているのです。彼は中国鍼など見たこともなかったのに、今ではもう任せていいくらいに上達しています。

後輩に伝えたいこと

こんなふうに、私の治療院で治療法を覚えた弟子たちは34、5人いますが、暖簾分けというか、ウチで勉強して外へ出て行ってくだらいいのです。後進の指導は社会貢献と思っていて、やる気があるなら技術は教える。いつでも見学に来ていいよ、いつでも教えてあげるからと。森ノ宮の入江浩正先生は高校時代、ラグビーでの怪我の治療で私の治療院に来られたことがきっかけで森ノ宮に入って鍼灸師の免許を取られた。そして治療家となって再びウチに勉強に来られました。7番目の弟子です。こうして繋がっていくのが面白い。彼らのように森ノ宮の学生さんをもっとガッツを持って治療の幅を広げてほしいですね。

それから、患者さんに対しては、おじいちゃんやおばあちゃん、恋人が来たと思って接すること。人と人だからね、機械相手ではないから。自然に接することです。開業以来、30数年間、治療に来られている方もいらっしゃいますが、ウチの治療院がアットホームな感じがすると言われるのも、そんなところに要因があるかもしれません。信頼関係があればこそですね。

YORAC(ヨラク)鍼灸院

〒530-0041
大阪市北区天神橋2丁目
北1番7号円山ビル
[Tel] 06-6358-8853
[アクセス] 大阪市営地下鉄谷町線
南森町駅(3番出口)下車すぐ
[診療時間] 月～金 / 12時～14時30分
17時30分～19時(月・木のみ)
土 / 12時～16時30分
[休診日] 水・日・祝日

